【大規模增額等地区】 「基準年月日│ 令和7年8月1日 作成責任者 林務局森林整備課路網整備担当課長 土井 和行 調書番号 07 - 13所管部 水産林務部 担当係 森林整備係(内)28-606 基本事項(基準日時点) 事業種別 林道整備事業費 地区名 桧倉川支 市町村名 福島町 総事業費 1,350 EDF 玉 50.0% 渞 50.0% 市町村 その他 負担割合 675 百万円 675 百万円 — 一 百万円 百万円 ●森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設として整備すべき林道を開設 ●本林道の森林利用区域面積は739haで、森林の保全に伴う水源涵養機能の維持向上や土砂流出防止機能の発揮にも重要な林道 事業目的 ・目標 【アウトカム】 等 ●森林利用区域における森林整備面積を林道整備後も着実に増加させる ●林道整備前 27ha → 林道整備後 399ha 本路線は、福島町桧倉 (百万円) (百万円) (百万円) 地区の道有林内の林道 林道開設事業 W=3.0m(4.0m) L=5,878m 前回評価 今回評価 増減額 間を結ぶ、車道幅員 林道開設工事 L=5,878m 666 1,209 543 3.0m、全幅員4.0m、 事業計画延長5,878m 測量設計費 1式 84 141 57 の路線であり、土工・ 工事費 路盤工•擁壁工•排水 施設工•法面保護工等 事業概要 内訳 を中心とした開設(新 設)を行うもので、こ の地域の森林整備を実 施する上で重要な路線 である。 計 750 1,350 600 基本方向 政策の柱 政策の方向性 施策名 総合計画 (3) ゼロカーボン 総合計画 での 潜在力発揮に 目標:グリーン成長で環 林業・木材産業の健全な の体系 豊かな森づくりの推進 位置付け 境と経済・社会が好循環 発展と山村地域の活性化 よる成長 する北海道 【計画名:北海道森林づくり基本計画 P31】 施策目標 (安定的な原木供給と効率的な木材生産) 特定分野別 効率的な森林整備や木材生産を進めるため、傾斜や土壌、気候などの自然条件や集落からの距離 方針 計画等での などの社会的条件が恵まれている人工林を中心に、路網を重点的に整備します。 位置づけ 森林所有者等が効率的な森林施業を行うための路網整備水準 関連する指標 令和2年度(2020年度):63.7m/ha ⇒ 令和13年度(2031年度): 68.0m/ha п 公共事業評価経過 当該年度 総事業費 累計事業 進捗率(b)/(a) 事業採択 着手 評価年度 完了予定 道負担額 事業費 費(b) 事 (a) 経 事 R2 R2 R11 事前評価 過 750 375 又は当初 (2020)(2020)(2029)年 業 数 前回再評 綷 価 費 R2 R2 R7 R14 過 5 今回評価 1,350 145 598 44% 675 (2020)(2020)(2025)(2032)資材及び労務単価上昇による増額 (2)残土運搬先変更に伴う運搬費の増額 変更理由・内容 (3) 擁壁工の基礎構造変更に伴う増額 (概要) 法面保護工の施工工法変更による増額 (5) 残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 事業採択前の状況 1. 事業採択に ●本路線利用区域は基幹となる路網が未整備のため、適切な森林施業が困難な状況にあり、森林整備が立ち後れている。 ●本地区の人工林は伐期を迎えた林分の割合が4割であり、主伐及び間伐が計画されている。 至る経過と背景 2. 事業検討の手 道有林内の森林施業実施のため事業を計画 ●R元年(2019年) 続(住民ニーズの ●R2年(2020年) 国からの事業採択 全体計画調査(アセスメント等) ●R2年(2020年) 把握等) 3.事業効果を ●本路線利用区域内の道有林 及ぼす ●利用区域内の森林が持つ水源涵養・国土保全・土砂流出防止などの公益的な機能の発揮 ●森林利用区域面積739ha 地域・対象 業 名 事業主体 事 業 期 間 事業費(百万円) 事 内 容 森林環境保全整備事業 北海道 R2~R6 37 森林施業(間伐•造林•保育) 4.関連する事業

	IV 事業の実施状況													
	(1)事業乳													
	施工(工種)区		内容 2		~	7	8 9			12	13	14 進		事業費(百万円)
	林道開設工事	W=3.0m I	L=5,878m	\leftarrow	_=1,148i	^m →<	(_=4,730			>	44%	1209
	測量設計費	全体計画·測量	B設計·施工管理	L=2,	400m	\rightarrow	(_=3,478	n		>	49%	141
														0
														0
1.進捗状況														0
1.進沙1人ル														0
	(2) 進捗状況													
	●事業費の増額により事業期間の精査を行った結果、事業期間が延伸となったが、今後の実施に当たって特に大きな支障となる ものはない。													
	OVJIG/GV 1 ₀													
	a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画・期間等を変更し実施する。													
			じ、実施に支		してい	る。								
	経済効果の内	訳(百万	7円)	費用の)内訳	(百万	7円)				仿	諸		
	項目	R 7	現在	項目		R 7	'現在							
	木材生産経費縮減便	益 !	5	事業費		1	202	アル」(林野月			令和	7年(20	025年)4,	目)に基
	 木材利用増進便		_	維持管理費			211		算出				/ · \	
	木材生産確保・増進侵		36				- ' '						(2025年)	
									化し、	Ⅰ型	を 備期 に	間+元	了後40年	間」で
	造林作業経費縮減便		1					算出	田1+	IB +	一体估	(L TG 71	1.10左門	の維持管
2.事業効果	森林整備促進便	益 15	527										r40年间で と異な <i>。</i>	
2・デ未が木	合計 (B)	1,6	670 1	合計(()	1	413	性具	U)	_1 ~ 0	トラ州心	于木具	C HA	ى ك
		B-	- C 前	回算定年月	隻 :	F	R元年度	(2019	年度)	【事業	着手】			
	B/C		— 前[前回算定時B/C: 1.24 (合計(B)856百万円、合計(C)689百万円)										
	(R7現在)	经济的	内部収変	更理由										
				・事業費の増額に伴う費用の増加及び事業期間の増。										
				森林施業	計画面積	責増に	#う便益	費用の増	0					
	1.18	-	-											
	TT= //I @ T					П- /	·					- Les		\
3.コスト	取組の項						且内容						宮減額 (
13.10	計画手法の最適化		烙線全体計画調査	画調査で通過ルートの比較検討を行い、構造物施工区間の短縮により事業コストを抑制。					24					
の取組														
♥ 評 個	Ī													
	●今後の開設区間においても森林整備を計画しており、本事業による林道開設の必要性に変化はなく事業継続は必要である。													
1 2/ 25 /44														
1.必要性		· =# o !!	(亜州に赤ル)	ナたノマ	コ じ ナバ	<u> </u>	- +#- \#t-	7						
			必要性に変化し											
			D状況変化に。 D状況変化に。											
		, <u></u>		J. J J. JC1	E V= 42 V	テルスコ	黒新する		る.					
	1(1)環接り	の配慮で	57ドミ甲早百			E非役7	判断する		る。					
	(1)環境」	の配慮及	なご課題			正非です	判断する		る。					
								必要があ						
	●工事区間にお	ける希少動	植物について			び地元	有識者^	必要があ	い等を					- 孙巛宝防
		ける希少動	植物について			び地元	有識者^	必要があ	い等を					→ 小災害防
2 事業を	●工事区間にお●土工のバラン	ける希少動	植物について			び地元	有識者^	必要があ	い等を					-砂災害防
2.事業を推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。	ける希少動 スを考慮し	植物について 、極力地形の	改変を抑	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					砂災害防
	●工事区間にお●土工のバラン	ける希少動 スを考慮し	植物について 、極力地形の	改変を抑	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					一砂災害防
推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。	ける希少動 スを考慮し	植物について、極力地形の	改変を抑 動 向・ 意	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					-砂災害防
推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業排	ける希少動 スを考慮し	植物について、極力地形の	改変を抑 動 向・ 意	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					砂災害防
推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業排	ける希少動 スを考慮し 進に対す 進のため早	植物について、極力地形の	改変を抑 動 向・ 意	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					一砂災害防
推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業拍 ●森林施業の促 (3)その他	ける希少動 スを考慮し 進に対す 進のため早	植物について、極力地形の	改変を抑 動 向・ 意	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					砂災害防
推進する	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業指 ●森林施業の促	ける希少動 スを考慮し 進に対す 進のため早	植物について、極力地形の	改変を抑 動 向・ 意	える線	び地元	有識者^	必要があ	い等を					-砂災害防
推進する上での課題	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業排 ●森林施業の促 (3)その他	ける希少動 スを考慮し 進に対す 進のため早 3の課題	植物について、極力地形の 「る地域の動 関完成の要望	改変を抑 動向・ 意 がある。	える線 	び地元 形とす	有識者へ るととも	必要があ	の写を	緑化に	こより降	雨時●↑	融雪時の土	→砂災害防
推進する 上での課題 3.事業達成	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業拍 ●森林施業の促 (3)その他	ける希少動 スを考慮し 進に対す 進のため早 3の課題	植物について、極力地形の 「る地域の動 関完成の要望	改変を抑 動向・ 意 がある。	える線 	び地元 形とす	有識者へ るととも	必要があ	の写を	緑化に	こより降	雨時●↑	融雪時の土	-砂災害防
推進する上での課題	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業指 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する	ける希少動スを考慮し. 進に対す 進のため早 の課題 上で特に問 現時点では	植物について、極力地形の 「る地域の」 期完成の要望 顕等はなく、 事業の進捗に	改変を抑 動向・	える線 () () () () () () () () () () () () () ()	び 地 元 す 緒 減 を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	有識者へるととも	必要があ の聞き即に、法面で、事業	の等を がの早期 が関係	でのデ	こより降	能であ	融雪時の±	
推進する 上での課題 3.事業達成	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業指 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する a:c:	ける希少動スを考慮し. 進に対す 進のため早 3の課題 上で特に問 現時点では題 大きな課題	植物について、極力地形の 「る地域の」 期完成の要望 関等はなく、 事業の進捗に があり達成に	改変を抑 動向・ がある。 引き続き 影響するの は相当の	える線 コスト 誤題はか	び地元す おきない できまれる できまれる こくさい できまれる こくさい できまい こくさい かいしゅう かいしゅう はい こく	有識者へるととも るととも で成が でれる。	必要があ の聞き取 に、法面	の等を 可の早期 動間内 る。 b	でのデ: 課題	こより降 記すが回	************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************<	融雪時の出	である。
推進する 上での課題 3.事業達成	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業拍 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する a:: 森林整備を実施	ける希少動スを考慮し、 進に対す 進のため早 はの課題 上で特点な課題 上で特点で課題 上で特点で課題 大きる上で、	植物について、極力地形の 「る地域の」 期完成の要望 襲等はな、進歩になる 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の	改変を抑 動向・ がある。 引き続き 影響するの は相当の	える線 コスト 誤題はか	び地元す おきない できまれる できまれる こくさい できまれる こくさい できまい こくさい かいしゅう かいしゅう はい こく	有識者へるととも るととも で成が でれる。	必要があ の聞き取 に、法面	の等を 可の早期 動間内 る。 b	でのデ: 課題	こより降 記すが回	************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************<	融雪時の出	である。
推進する上での課題 3.事業達成の見込み	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業計 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する a :: 森林整備を実施 期完成を目指し	ける希少動いたを考慮した。 進に対す 進のため早 の課題 上で特にで課題 上で特にで課題 上で特にで課題 大きること継続	植物について、極力地形の 「る地域の動 関完成の要望 関等はなく、 事業の進強に が要な路網整 する。	改変を抑 動向・ がある。 引き続き 影響するの は相当の	える線 コスト 誤題はか	び地元す おきない できまれる できまれる こくさい できまれる こくさい できまい こくさい かいしゅう かいしゅう はい こく	有識者へるととも るととも で成が でれる。	必要があ の聞き取 に、法面	の等を 可の早期 動間内 る。 b	でのデ: 課題	こより降 記すが回	************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************<	融雪時の出	である。
推進する 上での課題 3.事業達成	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業計 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する a :: 森林整備を実施 期完成を目指し	ける希少動スを考慮し、 進に対す 進のため早 はの課題 上で特点な課題 上で特点で課題 上で特点で課題 大きる上で、	植物について、極力地形の 「る地域の」 期完成の要望 襲等はな、進歩になる 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の 変数の	改変を抑 動向・ がある。 引き続き 影響するの は相当の	える線	び地元する。	有識者へるととも るととも で成が でれる。	必要があ の聞き取 に、法面	の等を がの早期 がある。 b	でのデ: 課題	こより降 記すが回	************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************************<	融雪時の出	である。
推進する上での課題 3.事業達成の見込み	●工事区間にお ●土工のバラン 止に努める。 (2)事業 ●森林施業の促 (3)その他 ●特になし 事業を推進する a: 森林整備を実施 期完成を目指し	ける希が動し、 は は に か は ままま は に か は ままま は に か まままま は の まままま は で 時で な 上で 時で な 上で 時で な 上で 続いて に ままままます ままままます まままます は 現 に は 題 い は 過 い は は 過 い は 過 い は 過 い は 過 い は 過 い は は 過 い は 過 い は 過 い は 過 い は 過 い は 過 い は は 過 い は は は は	植物について、極力地形の 「る地域の動 関完成の要望 関等はなく、 事業の進強に が要な路網整 する。	改変を抑動向・意 がある。 引き続きするの 影は側の基幹 こ	える線	が形 が形 できます できます できます できます できます できます できます できます	有識者へきまれるととも 図 達成が厚れる。 中止	必要があ の聞き取 に、法面	の等を がの早期 がある。 b	でのデ: 課題	こより降 記すが回	能であった分見込	融雪時の出	である。

	VI 備 考	
	1.評価履歴	【評価結果】
		事前評価: 該当なし 再評価: 該当なし
	1.計測极症	【特記事項】
	2 . その他の 取組事項	

補足資料

補足資 VII 事業 事業経過	計画変更							事	業費			
	再評価	事業採択	 着手	評価年度	変更年度	完了予定		_	総事業費	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		R2 (2020)	R2 (2020)			R11 (2029)	経		750			
変更①	1回目			R7 (2025)	R7 (2025)	R14 (2032)			1,350	145	498	44
変更②							過					
変更③							-					
変更④												
変更⑤							年					
変更⑥												
変更⑦							数					
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩							5					
変更理由	由・内容		(2) 残土選(3) 擁壁」 (4) 法面假	なび労務単価。 重搬先変更に の基本の施工 悪護の施工期間。	半う運搬費 <i>の</i> 変更に伴う増 工法変更によ)増額 諸額 (る増額	業期間 (の延伸	i i			

林道整備事業費 (北海道福島町字桧倉) 林業生産基盤道桧倉川支線開設事業

•事 業 主 体 :北海道

•利用区域面積 :739ha •幅員(車道幅員):3.0(4.0)m

•延 長 :5,878m

事業目的

- 森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設として整備すべき林道を開設。
- ・本林道の森林利用区域面積は739haで、森林の保全に伴う水源涵養機能の維持向上や土砂流出防止機能の発揮にも重要な林道を開設する。

